

大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

※

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 桐 丘 学 園

(2) 大学名

桐 生 大 学

(3) 大学の位置

〒379-2392

群馬県みどり市笠懸町阿左美606番7

(4) 管理運営組織

職 名	認 可 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	<small>セキザキ エツコ</small> 関崎 悦子 (平成9年5月就任)		
学 長	<small>タダクマ タクシ</small> 多田隈 卓史 (平成20年4月就任)		
学 部 長	<small>イノウエ シュウジ</small> 井上 修二 (平成21年4月就任)		平成20年4月から平成21年3月までは、学長多田隈卓史が兼任
学 科 長 等	看護学科長 <small>イマゼキ セツコ</small> 今関 節子 (平成20年4月就任)		
	栄養学科長 <small>カサハラ ヨシコ</small> 笠原 賀子 (平成20年4月就任)		

(注) 『(3) 大学の位置』は、申請学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成21年度に報告する内容 → (21)

※ 「留意事項報告書」の場合は、タイトルを修正してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成18年度開設の場合(平成21年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	認可時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療保健学部 看護学科 学士(看護学)	年 4	人 80	年次 人 3 10	人 340	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員超過率	備考
A 入学定員		(-)人 80	(-)人 80	(-)人	(-)人	0.94 倍	
志願者数		(-)人 125	(-)人 225	(-)人	(-)人		
受験者数		(-)人 120	(-)人 212	(-)人	(-)人		
合格者数		(-)人 113	(-)人 182	(-)人	(-)人		
B 入学者数		(-)人 75	(-)人 76	(-)人	(-)人		
入学定員超過率 B/A		(-)人 0.93	(-)人 0.95	(-)人	(-)人		

- (注) 1 ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	備考
1年次		[0] 75	[0] 76	[]	[]	
2年次		/	[0] 69	[]	[]	
3年次		/	/	[]	[]	
4年次		/	/	/	[]	
計		[0]	[0] 145	[]	[]	

- (注) 1 []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成18年度開設の場合(平成21年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療保健学部 栄養学科 学士(栄養学)	年 4	人 60	年次 人 3 10	人 260	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	(-) 60	(-) 60	() 人	() 人	0.74 倍	
志願者数	(-) 53	(-) 104	()	()		
受験者数	(-) 53	(-) 101	()	()		
合格者数	(-) 52	(-) 95	()	()		
B 入学者数	(-) 33	(-) 56	()	()		
入学定員超過率 B/A	(-) 0.55	(-) 0.93	()	()		

- (注) 1 ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	備 考
1年次	[0] 33	[0] 56	[]	[]	
2年次	/	[0] 31	[]	[]	
3年次	/	/	[]	[]	
4年次	/	/	/	[]	
計	[0] 33	[0] 87	[]	[]	

- (注) 1 []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	中国語	1	1・2・3・4	一般	選択	教科担当予定者の海外留学期間が延長となったため。平成21年度前期以降に開講する。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	地域・在宅看護学概論	2	2	専門	必修	平成21年度入学生より、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の変更に伴うカリキュラム変更のため、当該科目を廃止し、「地域看護学概論」2単位と「在宅看護学概論」1単位に変更する。
2	保健チーム看護論	2	1	専門	必修	平成21年度入学生より、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の変更に伴うカリキュラム変更のため、当該科目を、「チーム看護論」1単位に変更する。
3	卒業研究	3	3~4	専門	必修	平成21年度入学生より、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の変更に伴うカリキュラム変更のため、当該科目を「看護セミナー（看護の統合と発展）」3単位に変更する。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「中国語」については、学部共通の選択科目であり、基本的に大学卒業までに履修できれば、学生への履修の影響は少ないと思われる。とくに関連のある教科目としては、看護学科の「異文化コミュニケーション演習」があるが、それについては、2年次開講を予定しているため、影響は少ないと思われる。

学生への周知方法としては、平成20年度前期開講前オリエンテーションにおいて、年次履修計画のための教科目表を配布し、2年次以降の開講であることを説明してある。

「地域・在宅看護学概論」「保健チーム看護論」「卒業研究」の廃止については、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の変更に伴うカリキュラム変更のための措置であり、指定規則に沿って適切な授業科目の変更がなされており、法令上必要な措置である。なお、保健師学校看護師学校としての変更承認を受けており、また学則変更届も提出済みである。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.03}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
 なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
- 3 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- 4 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に差し引き数を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 5 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	中国語	1	1・2・3・4	一般	選択	教科担当予定者の海外留学期間が延長となったため。平成21年度前期以降に開講する。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「中国語」については、学部共通の選択科目であり、基本的に大学卒業までに履修できれば、学生への履修の影響は少ないと思われる。とくに関連のある教科目としては、看護学科の「異文化コミュニケーション演習」があるが、それについては、2年次開講を予定しているので、影響は少ないと思われる。

学生への周知方法としては、平成20年度前期開講前オリエンテーションにおいて、年次履修計画のための教科目表を配布し、2年次以降の開講であることを説明してある。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
なお、昨年度の報告において朱書きで見え消しした部分については、黒字で記載してください。
- 3 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- 4 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に差し引き数を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 5 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 6 「(4) 廃止科目」は、認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 7 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 8 「(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	運動用地および校舎敷地の一部は桐生大学短期大学部と共用。共用する他の学校等の専用の校舎敷地は桐生大学短期大学部アート・デザイン学科の専用。 ・登記の際、外用階段の面積が除かれたため、当初計画より、専用の校舎敷地面積が減少した⑩ ・共用部分(21) 増加：駐車場用地購入2,616.00㎡、法人名義の土地を振替990.00㎡ 減少：高校寮建設567.00㎡、再測量による誤差15.92㎡、みどり市へ道路用地寄附16.00㎡ ・共用する他の学校等の専用(21) 増加：高校寮建設567.00㎡		
	校 舎 敷 地	8,646.26 8,648.55 ㎡	8,368.11 ㎡	1,665.63 ㎡	18,680.00 18,682.29 ㎡			
	運動場用地	0 ㎡	9,672.70 9,670.41 ㎡	0 ㎡	9,672.70 9,670.41 ㎡			
	小 計	8,646.26 8,648.55 ㎡	18,040.81 18,038.52 ㎡	1,665.63 ㎡	28,352.70 ㎡			
	そ の 他	0 ㎡	6,757.30 3,750.22 ㎡	567.00 0 ㎡	7,324.30 3,750.22 ㎡			
	合 計	8,646.26 8,648.55 ㎡	24,798.11 21,791.03 21,788.74 ㎡	2,232.63 1,665.63 ㎡	35,677.00 32,102.92 ㎡			
(2) 校 舎	専 用	8,646.26			16,608.07	校舎の一部は桐生大学短期大学部と共用 ・登記の際、外用階段の面積が除かれたため、当初計画より、専用の校舎面積が減少した⑩		
	8,648.55 ㎡	6,296.18 ㎡	1,665.63 ㎡	16,610.36 ㎡				
	8,646.26			16,608.07				
	(8,648.55 ㎡)	(6,296.18 ㎡)	(1,665.63 ㎡)	(16,610.36 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	20 室	6 室	29 室	4 室 (補助職員 1人)	2 室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			申請学部全体		
	医療保健学部		45 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	「大学全体での共用分」図書27,000 ・図書については、当初見積より安価で予定冊数をそろえることができたので、開設年次1年生への教育的配慮から、図書を充実させた⑩ ・学術雑誌については、当初予定から休刊等により減少した⑩ ・電子ジャーナルについては、当初提出した外国書の数値の誤りを訂正した⑩ ・視聴覚資料は、当初見積より安価で入手できたため点数を増加させた⑩ ・機械・器具については、当初見積より安価で入手できたため点数を増加させた⑩ ・標本については、開設年次1年生への教育的配慮から充実させた⑩
	医療保健学部	16,530 [3,000] (13,598 [1,934]) (11,730 [1,900])	110 [35] (107 [33]) (110 [35])	5 5 [0] 5 (5 [0])	1,000 (844) (800)	6,666 6,239 (6,666) (6,239)	363 317 (363) (317)	
	計	16,530 [3,000] (13,598 [1,934]) (11,730 [1,900])	110 [35] (107 [33]) (110 [35])	5 [0] 5 [0] (5 [0])	1,000 (844) (800)	6,666 6,239 (6,666) (6,239)	363 317 (363) (317)	

(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	1,344 m ²		190		50,000				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,275 m ²		該当なし						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・教育研究環境を充実させるため、教員一人あたりの研究費を増額した⑩ ・設備購入費については、見積より安価で購入できたため、減少した⑩
		教員1人当り研究費等	516 400千	516 400千	図書購入費	4,000千円	3,000千円	1,000千円	
		共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	301,072 350,000 千	20,800千円	14,800千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		看護学科1,750千円	看護学科1,500千円	看護学科1,500千円	看護学科1,500千円	-	-		
栄養学科1,700千円		栄養学科1,450千円	栄養学科1,450千円	栄養学科1,450千円					
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) 1 認可時の計画を設置認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。
2 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
3 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を備考欄に記入してください。
4 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
なお、昨年度の報告において朱書きで見え消しした部分については、黒字で記載してください。
5 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、《別紙様式2》により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区分	留意事項	履行状況	未履行事項についての実施計画
<p>認可時</p> <p>(19年12月)</p>	<p>・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開設時まで教員を充足すること。(栄養学科)</p>	<p>・平成20年1月に、平成20年度就任予定教員の研修会を実施し、設置の趣旨・目的等を共有させ、平成20年4月以降の授業計画の立案に活かせるような体制とした。また、平成20年4月当初にも、就任した教職員を対象とした研修会を実施し、実際のカリキュラムにおいて設置の趣旨・目的等がどのように生かされるべきか等を説明し、その周知徹底をはかった。さらに、当初計画より、年間10万円以上の研究費の増額をはかり、4年制大学にふさわしい教育・研究成果が出せるような土台作りを実施した。^⑳</p> <p>・平成21年4月に就任した教職員については、研修会を実施し、設置の趣旨・目的等とカリキュラムについて説明し、その周知徹底をはかった。また平成21年度も前年度同様、当初計画より増額した研究費とし、4年制大学にふさわしい教育・研究成果が出せるようにした。^㉑</p> <p>・「教育方法論」の兼任講師を補充し、その教員を担当として教職課程申請を行い、教職課程の認定をもらった。^㉒</p>	
<p>設置計画履行状況調査時</p> <p>(20年10月)</p>	<p>該当なし</p>		

- (注) 1 「認可時」欄には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度（丸数字）を付記してください。
- 2 「設置計画履行状況調査時」欄には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- 3 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- 4 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<医療保健学部>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成9年度（当時、桐生短期大学）に設置の「自己点検・自己評価委員会」に加えて、平成18年度には「桐生短期大学FD委員会」を設置し、大学教員の資質の向上を含めた大学教育全体の改善に資する活動を行ってきた。平成20年度の桐生大学開学にともない、桐生大学学則に基づき、従来の「FD委員会」の基本理念を受け継ぎながらも、それをさらに発展させた「桐生大学FD委員会」を発足させた。本委員会は、4年制大学にふさわしい教員としての教育力および研究力を発揮することができるような教育研究活動を実施するにあたっての条件づくりに寄与すること、さらにそれらの活動の点検・発展を目指すことを目的として設置されたものである。

（資料）「桐生大学FD委員会規程」参照

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成20年度は、自己点検・自己評価委員会の連携のもと、FD委員会をほぼ一月に1回、計11回開催した（短大部との合同委員会を含む）。FD委員である教員7名で、約90%の出席率であった。

c 委員会の審議事項等

平成20年度は、FD委員会を中心として、教員の教育力向上に資するため、FD活動を実施してきた。その主な審議内容は以下のとおりである。

- ・ 授業評価アンケートの企画・実施計画について。
- ・ 授業評価アンケート結果の集計について。
- ・ 当該教員への授業評価アンケートのフィードバックおよび結果に対する自己評価報告について。
- ・ 公開授業と実施後の教員並びにFD委員会委員による授業検討会の開催について。
- ・ 新任教員（教職歴3年未満）の研修会の内容について。
- ・ eラーニング教材の導入について。
- ・ 授業支援システムの活用について。
- ・ 系列校との連携推進・強化について。
- ・ FD報告書の作成について。
- ・ その他、実施内容の検討について。

② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

a 実施内容

- ・ 平成20年度就任教員のための研修会（平成20年1月20日及び平成20年4月1日実施）
- ・ 授業評価アンケートの実施（前後期それぞれ中間評価および最終評価を実施）
- ・ 授業評価アンケートの公表（前後期それぞれ中間評価および最終評価を学内専用サイトに掲載）
- ・ 新任教員（教職歴3年未満）の研修会の実施
- ・ 公開授業および授業検討会（新任教員（教職歴3年未満）およびFD委員は原則として参加）の実施

- ・ eラーニング教材・授業支援システム活用のための研修会の実施
- ・ 授業支援システムのWeb上への公開
- ・ 系列校との連携協議会の開催
- ・ 教育・研究・学習指導等活動報告書を全教員が作成・提出

b 実施方法

- ・ FD委員会を中心として、企画・運営を検討し、実施内容ごとに、教務課・情報センター・入試広報課等との連携して、実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成20年度就任教員のための研修会には、対象となる教員全員が参加している。（1回目の研修会に欠席であった教員1名については、数日後に同内容の研修を実施している。）
- ・ 授業評価アンケートは、開講されたすべての教科目について、中間・最終評価とも実施した。それらすべての結果を学内専用サイトに掲載している。
- ・ 教職歴3年未満の教員（助手含む）を対象とした研修会には、公務で欠席した教員以外はすべて出席した。公務で欠席した教員については、事後に個別に研修を実施した。
- ・ 授業評価結果を踏まえて、比較的評価の高かった教員の授業を参観する公開授業を実施した。原則として、教職歴3年未満の教員（助手含む）は全員参加とした。同時刻に担当授業があった教員以外は、すべて出席した。同一週に公開授業参観者による授業検討会を実施した。公務で欠席した教員以外はすべて出席した。公務で欠席した教員については、事後に検討会の結果を伝達した。
- ・ 情報センターの協力の下、eラーニング教材・授業支援システム活用のための研修会を実施した。全教員のほぼ90%が出席した。欠席者には、当日配付した資料を使って事後に説明した。
- ・ 入試広報課を中心に系列校（桐生第一高校）との連携協議会を開催した。入試等についての情報交換の他に大学・高校それぞれの授業内容・カリキュラムについての情報交換を行った。
- ・ 平成20年度2月までの教育・研究・学習指導等活動についての報告書を全教職員が作成・提出した。内容は、授業評価に対する自己評価、平成20年度の研究業績・社会的活動、学生への指導状況等について報告するものであった。今後、業績評価のための委員会で精査することとなっている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 平成20年度のFD活動を継続して実施する予定であるが、教育・研究・学習指導等活動報告書等を精査し、より効率的なFD活動となるような方策を検討していきたい。
- ・ 公開授業については、その回数を増やし、授業評価の結果を継続して分析した結果、問題のある授業・教員等については、特に授業参観・検討会を実施する予定である。

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

（別紙資料のとおり）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 平成21年6月30日 公表予定

b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を作成・刊行し、学内教職員に配布。ならびに、希望があった高等学校、近隣企業等及び希望する学生に各1冊を配布する予定。

- ・大学ホームページ上に公開予定（平成21年8月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に評価機関（日本高等教育評価機構：予定）の評価を受けるべく、学内で検討中。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年 5 月 31 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.kiryu-u.ac.jp>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年 6 月 30 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.kiryu-u.ac.jp>)

- (注) 1 項目は、1～6の項目により記入した事項以外で、認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 記入事項は、原則として、設置認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、積極的な評価を行う場合、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
記入方法は、欄内には(別紙のとおり)とし、A4版1枚程度で作成した別紙を添付してください。
なお、「B 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」及び「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合は、公表後の取扱いについて記入してください。